

内閣総理大臣杯争奪 第53回西日本実業柔道団体対抗大会

対戦成績

※勝敗の表示について

便宜上、勝敗の表示は以下の記号としています。

一本勝 ○
 技あり 指導3 ①
 有効 指導2 ②
 判定 ●

男子第3部1回戦

錦秀会阪和病院 1 — ② 京都医健専門学校A
 (先鋒) 金崎 泰成 初段 合せ技 ○ 瀧花 大志 3段
 (中堅) 濱田 一隆 初段 袖釣込腰○ 森田 真司 3段
 (大将) 小笠原力人 4段 ○ 横四方固 八木 克敏 2段

戸高鋳業社 ② — 1 関西健康科学専門学校C
 (先鋒) 佐藤 翔平 2段 優勢勝 ② 西倉 央倫 4段
 (中堅) 崎村栄一郎 2段 ○ 払腰 濱田 洋介 3段
 (大将) 崎村 徳樹 2段 ○ 横四方固 桑原 裕己 2段

大阪ガス 0 — ② 山陽セフティB
 (先鋒) 大谷 健三 2段 背負投 ○ 飯塚 芳仁 初段
 (中堅) 城後 竜司 2段 引分 下崎 互 初段
 (大将) 脇田 大樹 3段 払腰 ○ 光岡 幹久 2段

九電工 ② — 1 ひらた整骨院C
 (先鋒) 湊 拓也 初段 指導3 ① 寺田 雅人 4段
 (中堅) 紫垣 将悟 2段 ○ 背負投 室 王貴 5段
 (大将) 小田口真也 3段 ○ 小外刈 佐無田 亮 3段

ワイエスフード ② — 1 日本生命 B
 (先鋒) 田上 耕平 3段 ○ 背負投 渡邊 智貴 3段
 (中堅) 細田 貴義 3段 不戦勝 ○ 井上 雄貴 2段
 (大将) 望月 竜太 3段 ○ 内股 小川 哲生 3段

関西健康科学専門学校B 0 — ② 高松刑務所B
 (先鋒) 圓岡 佑京 2段 一本背負投 ○ 多田 博昭 2段
 (中堅) 前野 仁則 2段 引分 藤原 一人 3段
 (大将) 川邊 勇一 2段 内股 ○ 中迫 裕治 3段

新日鐵住金 ② — 1 関西医療学園B
 (先鋒) 不戦勝 ○ 山本 悠介 2段
 (中堅) 岡 一太郎 3段 ○ 上四方固 前原 信義 初
 (大将) 小林 真也 2段 ○ 後腰 平田晃太郎 2段

クラレ岡山A ③ — 0 明治東洋医学院専門学校C
 (先鋒) 渡邊 竜一 2段 ○ 内股 山本 律也 2段
 (中堅) 岡田 大地 3段 ○ 払腰 西垣 圭貴 3段
 (大将) 渡邊 健太 初段 ○ 小外刈 北東 禎央 2段

関西学院柔道クラブA ② ー 1 ひらた整骨院A
 (先鋒) 三角 亮太 3段 ○ 小外刈 平田 和義 5段
 (中堅) 埴田 和哉 3段 大外刈 ○ 上菌 義明 5段
 (大将) 伊勢村一平 2段 ② 指導2 瀧澤 順 4段

九州医療スポーツ専門学校 ① ー 0 和生堂
 (先鋒) 平田 明 2段 引分 小野 翔太 3段
 (中堅) 松元 祥也 2段 ○ 上四方固 柿木原貴良 3段
 (大将) 宮崎 大三 3段 引分 高倉幸一郎 3段

山陽セフティA ③ ー 0 ひらた整骨院D
 (先鋒) 平岡 達也 2段 ○ 一本背負投 倉光 徳史 3段
 (中堅) 畠田 卓実 2段 ① 優勢勝 堀 和雄 4段
 (大将) 田中 寿幸 3段 ○ 裏投 登里 圭吾 2段

明治東洋医学院専門学校B ② ー 1 京阪電鉄
 (先鋒) 木村 謙太 2段 ○ 背負投 能住 健一 初段
 (中堅) 中野 哲也 3段 ① 優勢勝 齋藤 俊 2段
 (大将) 片岡 大地 初段 大内刈 ○ 甲能 一行 3段

国分自衛隊 B 0 ー 1 クラレ岡山B
 (先鋒) 今村 翔 2段 引分 矢部 雅和 初段
 (中堅) 西川 竜二 2段 払腰 ○ 城戸 勇太 初段
 (大将) 畠 浩貴 2段 引分 白神 哲治 初段

関西学院柔道クラブB 1 ー ② 三井造船 玉野B
 (先鋒) 栃下 卓哉 2段 小外掛 ○ 山根 睦巳 初段
 (中堅) 赤坂 亨 3段 ○ 背負投 料治 俊宏 2段
 (大将) 下川 良太 3段 大外刈 ○ 岸本 知也 2段

J R九州 ① ー 1 日本生命 A
 (先鋒) 植山 恵介 2段 ○ 出足払 竹本 龍平 3段
 (中堅) 古園井新成 3段 引分 勝見 拓登 3段
 (大将) 西山功一郎 2段 優勢勝 ② 萬代 一樹 2段

高松刑務所A ③ ー 0 京都医健専門学校B
 (先鋒) 森 佑貴 初段 ○ 払腰 梶原 優輔 3段
 (中堅) 福田 天祐 3段 ① 優勢勝 安田 翔一 2段
 (大将) 鴻池 慧 2段 ○ 支釣込足 塩崎将一郎 初段

ひらた整骨院B ② ー 1 別府自衛隊
 (先鋒) 萩原 裕崇 3段 不戦勝 ○ 大塚 脩司 2段
 (中堅) 山元 淳嗣 初段 ○ 大外返 新平 聖也 3段
 (大将) 水谷 信吾 3段 ○ 合せ技 松永 大孝 2段

日柔整請求サービスA ③ ー 0 神鋼環境ソリューション
 (先鋒) 高橋 雄貴 2段 ○ 肩固 山口 裕哉 2段
 (中堅) 有村 昌大 2段 ○ 大外掛 萩野 雅之 初段
 (大将) 藤原 隆浩 3段 ○ 並十字絞 能勢 淳平 3段

第2回戦

安川電機 ② ー 1 京都医健専門学校A
 (先鋒) 岡田 昭平 3段 ○ 三角固 瀧花 大志 3段
 (中堅) 白石 直之 2段 合せ技 ○ 森田 真司 3段
 (大将) 江藤 翔 初段 ○ 上四方固 八木 克敏 2段

徳島刑務所B 0 ー ③ 戸高鋳業社
 (先鋒) 中原 大輔 3段 内股 ○ 安東平八郎 3段
 (中堅) 野口 剛 4段 払腰 ○ 崎村栄一郎 2段
 (大将) 中川 浩一 3段 横四方固 ○ 崎村 徳樹 2段

明治東洋医学院専門学校A ③ ー 0 山陽セフティB
 (先鋒) 白間 彬良 2段 ○ 背負投 飯塚 芳仁 初段
 (中堅) 庄本 泰崇 3段 ○ 合せ技 下崎 互 初段
 (大将) 西野慎太郎 2段 ○ 大外刈 光岡 幹久 2段

ミズノ 0 ー ③ 九電工
 (先鋒) 益井 一光 初段 合せ技 ○ 湊 拓也 初
 (中堅) 阪口 雄司 初段 横四方固 ○ 紫垣 将悟 2段
 (大将) 田中 健次 3段 払腰 ○ 小田口真也 3段

日柔整請求サービスB 1 ー ② ワイエスフード
 (先鋒) 魚村 優作 初段 送襟絞 ○ 田上 耕平 3段
 (中堅) 登 聖 初段 ○ 不戦勝 細田 貴義 3段
 (大将) 前川 亮 2段 優勢勝 ② 望月 竜太 3段

三井造船 玉野A 1 ー ② 高松刑務所B
 (先鋒) 小野 未咲 2段 不戦勝 ○ 多田 博昭 2段
 (中堅) 岡本 賢門 初段 ○ 体落 藤原 一人 3段
 (大将) 吉岡 秀晃 2段 優勢勝 ② 中迫 裕治 3段

国分自衛隊A 1 ー ② 新日鐵住金
 (先鋒) 福山 慎吾 2段 ○ 不戦勝 酒井 高喜 3段
 (中堅) 阿部 利一 3段 優勢勝 ② 岡 一太郎 3段
 (大将) 國分 貴弘 2段 優勢勝 ② 小林 真也 2段

クラレ岡山A ② ー 1 関西学院柔道クラブA
 (先鋒) 渡邊 竜一 2段 ① 優勢勝 三角 亮太 3段
 (中堅) 岡田 大地 3段 ○ 崩袈裟固 埴田 和哉 3段
 (大将) 渡邊 健太 初段 合せ技 ○ 伊勢村一平 2段

九州医療スポーツ専門学校 0 ー ③ 山陽セフティA
 (先鋒) 平田 明 2段 優勢勝 ① 平岡 達也 2段
 (中堅) 松元 祥也 2段 優勢勝 ② 畠田 卓実 2段
 (大将) 宮崎 大三 3段 合せ技 ○ 田中 寿幸 3段

徳島刑務所A ① ー 0 明治東洋医学院専門学校B
 (先鋒) 清水 大樹 4段 引分 木村 謙太 2段

(中堅) 矢野 一誠 2段 引分 中野 哲也 3段
 (大将) 星野 誠基 3段 ② 優勢勝 片岡 大地 初段

十全会 回生病院 ③ 一 0 クラレ岡山B
 (先鋒) 小畑 悠太 3段 ○ 払腰 矢部 雅和 初段
 (中堅) 西原 克明 3段 ○ 反則勝 城戸 勇太 初段
 (大将) 鎮守 直樹 3段 ○ 払腰 1 白神 哲治 初段

関西健康科学専門学校A ② 一 1 三井造船 玉野B
 (先鋒) 池田 陸 2段 ○ 合せ技 山根 睦巳 初段
 (中堅) 石倉風友人 2段 ○ 払腰 料治 俊宏 2段
 (大将) 芝原 大樹 2段 大外刈 ○ 岸本 知也 2段

関西医療学園A ② 一 1 J R九州
 (先鋒) 三木 秀輝 3段 ○ 小内刈 植山 恵介 2段
 (中堅) 水野 翔太 2段 合せ技 ○ 古園井新成 3段
 (大将) 阿部 建太 4段 ② 優勢勝 西山功一郎 2段

関西電力 0 一 ③ 高松刑務所A
 (先鋒) 中正 裕規 3段 内股 ○ 森 佑貴 初段
 (中堅) 山本 祐 2段 優勢勝 ② 福田 天祐 3段
 (大将) 山根 正則 3段 上四方固 ○ 鴻池 慧 2段

アーバンセキュリティ 1 代① ひらた整骨院B
 (先鋒) 白川幸太郎 3段 ○ 不戦勝 萩原 裕崇 3段
 (中堅) 新崎 景士 2段 大内掛 ○ 山元 淳嗣 初段
 (大将) 荒木 大地 3段 引分 水谷 信吾 3段
 代表戦 白川幸太郎 3段 優勢勝 ② 山元 淳嗣 初段

肥後銀行 1 一 ② 日柔整請求サービスA
 (先鋒) 太江田進吾 3段 背負投 ○ 高橋 雄貴 2段
 (中堅) 笠 巳佐男 2段 ① 優勢勝 有村 昌大 2段
 (大将) 野中 啓明 3段 腕挫十字固 ○ 藤原 隆浩 3段

第3回戦

安川電機 0 一 ③ 戸高鋳業社
 (先鋒) 岡田 昭平 3段 浮落 ○ 安東平八郎 3段
 (中堅) 白石 直之 2段 払腰 ○ 崎村栄一郎 2段
 (大将) 江藤 翔 初段 上四方固 ○ 崎村 徳樹 2段

明治東洋医学院専門学校A ① 一 0 九電工
 (先鋒) 白間 彬良 2段 引分 湊 拓也 初段
 (中堅) 庄本 泰崇 3段 引分 紫垣 将悟 2段
 (大将) 西野慎太郎 2段 ○ 後袈裟固 小田口真也 3段

ワイエスフード ② 一 1 高松刑務所B
 (先鋒) 田上 耕平 3段 ○ 体落 多田 博昭 2段
 (中堅) 細田 貴義 3段 不戦勝 ○ 藤原 一人 3段
 (大将) 望月 竜太 3段 ① 優勢勝 中迫 裕治 3段

	新日鐵住金	②	—	1	クラレ岡山A
(先鋒)	酒井 高喜 3段		不戦勝	○	渡邊 竜一 2段
(中堅)	岡 一太郎 3段	○	合せ技		岡田 大地 3段
(大将)	小林 真也 2段	○	横四方固		渡邊 健太 初段

	山陽セフティA	1	—	②	徳島刑務所A
(先鋒)	平岡 達也 2段		内股	○	清水 大樹 4段
(中堅)	畠田 卓実 2段		優勢勝	②	矢野 一誠 2段
(大将)	田中 寿幸 3段	○	体落		星野 誠基 3段

	十全会 回生病院	③	—	0	関西健康科学専門学校A
(先鋒)	小畑 悠太 3段	○	内股		池田 陸 2段
(中堅)	西原 克明 3段	○	崩袈裟固		石倉風友人 2段
(大将)	鎮守 直樹 3段	○	小内掛		芝原 大樹 2段

	関西医療学園A	②	—	1	高松刑務所A
(先鋒)	三木 秀輝 3段	○	合せ技		森 佑貴 初段
(中堅)	水野 翔太 2段	○	跳腰		福田 天祐 3段
(大将)	阿部 建太 4段		大外刈	○	鴻池 慧 2段

	ひらた整骨院B	②	—	1	日柔整請求サービスA
(先鋒)	萩原 裕崇 3段		不戦勝	○	高橋 雄貴 2段
(中堅)	山元 淳嗣 初段	○	背負投		有村 昌大 2段
(大将)	水谷 信吾 3段	○	合せ技		藤原 隆浩 3段

第4回戦

	戸高鋳業社	③	—	0	明治東洋医学院専門学校A
(先鋒)	安東平八郎 3段	○	小外掛		白間 彬良 2段
(中堅)	崎村栄一郎 2段	○	腕緘		庄本 泰崇 3段
(大将)	崎村 徳樹 2段	○	上四方固		西野慎太郎 2段

	ワイエスフード	1	—	②	新日鐵住金
(先鋒)	田上 耕平 3段	○	不戦勝		酒井 高喜 3段
(中堅)	細田 貴義 3段		払腰	○	岡 一太郎 3段
(大将)	望月 竜太 3段		横四方固	○	小林 真也 2段

	徳島刑務所A	①	—	0	十全会 回生病院
(先鋒)	清水 大樹 4段		引分		小畑 悠太 3段
(中堅)	矢野 一誠 2段	②	優勢勝		西原 克明 3段
(大将)	星野 誠基 3段		引分		鎮守 直樹 3段

	関西医療学園A 代①	—	—	1	ひらた整骨院B
(先鋒)	三木 秀輝 3段	○	不戦勝		萩原 裕崇 3段
(中堅)	水野 翔太 2段		縦四方固	○	山元 淳嗣 初段
(大将)	阿部 建太 4段		引分		水谷 信吾 3段
代表戦	三木 秀輝 3段	②	優勢勝		山元 淳嗣 初段

準決勝戦 第1試合

	戸高鉦業社	1	—	②	新日鐵住金	
(先鋒)	安東平八郎	3段	○	不戦勝	酒井 高喜	3段
(中堅)	崎村栄一郎	2段		内股	○ 岡 一太郎	3段
(大将)	崎村 徳樹	2段		優勢勝	① 小林 真也	2段

準決勝戦 第2試合

	徳島刑務所A	①	—	1	関西医療学園A	
(先鋒)	清水 大樹	4段		指導2	② 三木 秀輝	3段
(中堅)	矢野 一誠	2段	○	裏投	水野 翔太	2段
(大将)	星野 誠基	3段		引分	阿部 建太	4段

決勝戦

	新日鐵住金	②	—	1	徳島刑務所A	
(先鋒)	酒井 高喜	3段		不戦勝	○ 清水 大樹	4段
(中堅)	岡 一太郎	3段	①	指導3	矢野 一誠	2段
(大将)	小林 真也	2段	○	肩固	星野 誠基	3段

=戦評=

決勝戦は、2人で勝ち抜いてきた新日鉄住金と接戦をものにしてきた徳島刑務所Aとの対戦となった。先鋒を欠く新日鐵住金はこれまでの3試合全て2対1で下し、勝ち上がってきている。

<先鋒戦> 徳島刑務所Aの不戦勝。

<中堅戦> とともに左組み。新日鐵住金の岡は徳島刑務所Aの巨漢・矢野の釣手をうまく殺して、十分な体制にさせない。絶えず動きながら足技をかけて矢野をぐらつかせ、1分すぎには大内刈で矢野を大きく横転させる。ポイントとはならなかったが、その直後の1分27秒矢野に指導が与えられる。矢野は攻勢に出ようとするが、1分44秒には袖口で指導を与えられ、その後もなかなか技を出し切れず、逆に岡の足技に巨体を大きく浮かせる場面もあり、3分8秒3回目の指導が与えられる。岡は終始矢野を翻弄し手堅く勝ちを収める。

<大将戦> 新日鐵住金の小林、徳島刑務所Aの星野、身長は小林がまさるが、体重は同じぐらい。ともに右組みの対戦となる。両者、互いの釣手を十分に持たせず、序盤は両袖を持ちながらの攻防となるが、小林が組み際に攻めるのに対し星野は技がでず、1分9秒、星野に指導が与えられる。その後も、小林が攻勢にでて、小外刈で星野の体を何度か宙に浮かせ、2分5秒星野に2回目の指導。その直後、またもや小外刈から逃れた星野が腹ばいになったところ、小林後ろについて、星野の両脇から両手を差し入れ星野の横襟を握りながら、自分の腹の上で星野の体を一回転させて、星野の右脇から差し入れた自分の右腕で星野の首を制し体側について肩固に押込む。見事な一本勝ちで優勝を飾る。

新日鐵住金の両選手ともに足技にすぐれ、不十分な組み手からでも技をしかけ常に試合の主導権を奪っていく戦いぶりは見事であり、一度も負けられない状況で初戦かい決勝までの5試合を全て2人で戦い抜き、2人で10試合全てに勝利を収めた精神力は見るものに感動を与えた。